

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成29年8月14日

**【四半期会計期間】** 第49期第1四半期(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

**【会社名】** 平安レイサーサービス株式会社

**【英訳名】** HEIAN CEREMONY SERVICE CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 相馬秀行

**【本店の所在の場所】** 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

**【電話番号】** 0463 - 34 - 2771 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 土屋浩彦

**【最寄りの連絡場所】** 神奈川県平塚市桜ヶ丘1番35号

**【電話番号】** 0463 - 34 - 2771 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役財務部長 土屋浩彦

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第48期 第1四半期 連結累計期間	第49期 第1四半期 連結累計期間	第48期
	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	2,404,450	2,408,138	10,205,259
経常利益 (千円)	490,765	442,848	2,125,881
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	330,872	306,460	1,405,611
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	334,033	306,703	1,381,299
純資産額 (千円)	15,712,194	16,764,047	16,614,952
総資産額 (千円)	30,763,833	31,655,208	32,080,647
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	25.19	23.33	107.02
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	51.1	53.0	51.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済の概況は、景気は緩やかな回復基調が続いている中で、個人消費は緩やかに持ち直しており、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されております。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスによる収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### 冠婚事業

当事業では、花々で彩られた噴水タワーで行うケーキカットセレモニー「ウェディングフオンターナケーキ プリマヴェーラ」を新商品として、各広告媒体におけるビジュアル面の強化を行うとともに、営業面では、来館に繋げるためのインターネット媒体を中心としたツールを拡充し、資料請求や来館者数の増加に努めてまいりました。

教育面では、継続したフロントスタッフの新規対応・提案力強化の研修を実施し、営業力強化を図り婚礼成約数の増加に努めてまいりました。

その結果、婚礼施行組数は前年同期に比べ増加、各種オリジナル商品が寄与したこともあり婚礼一組単価も増加となり、売上高は121百万円（前年同期比27.4%増加）、営業利益は21百万円（前年同期比173.6%増加）となりました。

#### 葬祭事業

当事業では、前連結会計年度に開業した「湘和会堂寒川」（高座郡寒川町岡田）、「湘和会堂手広」（鎌倉市笛田）が、通年稼働を始め、順調に施行件数を伸ばしました。

商品面では、社内製作による参加型葬儀のオリジナル商品として、故人を中心として惜別する「追悼壇」、オブジェをモチーフに生花と融合させた「追悼生花祭壇」、故人を生花で囲んで送る「花園」、あらゆる音楽ソースを忠実に再現できる「オリジナル大型スピーカー」による音楽葬などの提案を継続して行ってまいりました。

営業面では、インターネットを含む各種広告媒体を駆使して、より細やかな情報発信を定期的に行うなど、告知活動を強化するとともに、引き続き各施設の認知度向上や生前相談者数の増加を図るため、オリジナル商品を中心とした提案型の施設見学会や内覧会を通じて営業活動を行いました。加えて、通常の葬祭イベントに比べ来館しやすい企画として、仏壇・墓地関連及び相続相談などを中心とした「メモリアルフェア」を開催し、集客及び周辺売上の増強に努めてまいりました。

教育面では、引き続き、当社独自の研修である不安や疑問を解くカウンセリングセールストーク研修を行いました。さらに、潜在的な想いを当社オリジナル商品を通じて具現化するためのコンサルティングセールストーク研修を継続して実施いたしました。

その結果、前年同期に比べて当社主要エリアにおける死亡人口は増加、シェア率は下降いたしました。葬儀施行件数は増加いたしました。また、葬儀一件単価は会葬者数減少等の影響により減少し、売上高は2,017百万円（前年同期比1.6%減少）、営業利益は573百万円（前年同期比6.7%減少）となりました。

#### 互助会事業

当事業では、平成29年4月より低額掛け金の新コース募集を開始し、お客様の利便性の更なる向上を図る事にいたしました。

売上高は60百万円（前年同期比4.4%減少）、営業利益は32百万円（前年同期比1.8%減少）となりました。

#### 介護事業

当事業では、平成29年4月に小規模多機能型居宅介護とグループホーム（認知症対応型共同生活介護）を備える複合型施設「へいあん片瀬鵜沼」（藤沢市片瀬）が開業いたしました。

その結果、売上高は269百万円（前年同期比4.3%増加）、経費面では上記の開業費用が発生したこともあり、営業利益は4百万円（前年同期比64.8%減少）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,408百万円（前年同期比0.2%増加）、営業利益は416百万円（前年同期比9.8%減少）、経常利益は442百万円（前年同期比9.8%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は306百万円（前年同期比7.4%減少）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

#### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して425百万円の減少となりました。流動資産では、法人税等の支払い等により現金及び預金が358百万円減少しました。固定資産では、土地が新規取得により20百万円増加しましたが、建物及び構築物をはじめとする減価償却等により104百万円減少しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比較して574百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が414百万円減少したほか、買掛金が61百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が64百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して149百万円の増加となりました。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	52,400,000
計	52,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年8月14日)	上場金融商品取引 所名又は登録認可 金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	14,667,000	14,667,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式 単元株式数は100株でありま す。
計	14,667,000	14,667,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月30日	-	14,667,000	-	785,518	-	2,838,393

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,533,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,132,700	131,327	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,300		同上
発行済株式総数	14,667,000		
総株主の議決権		131,327	

- (注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。  
 また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。  
 2. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
平安レイサーサービス株式会社	神奈川県平塚市 桜ヶ丘1番35号	1,533,000	-	1,533,000	10.45
計		1,533,000	-	1,533,000	10.45

(注) 当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(自己株式等)」の欄に含めております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,876,956	9,518,321
売掛金	249,783	243,130
有価証券	701,019	700,342
商品及び製品	39,628	40,558
原材料及び貯蔵品	125,605	129,699
繰延税金資産	80,823	30,459
その他	104,546	195,412
貸倒引当金	2,289	2,351
流動資産合計	11,176,073	10,855,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,476,148	4,382,566
機械装置及び運搬具（純額）	136,208	122,273
工具、器具及び備品（純額）	160,220	155,704
土地	7,254,010	7,274,037
その他	53,092	41,573
有形固定資産合計	12,079,680	11,976,156
無形固定資産	43,671	41,687
投資その他の資産		
投資有価証券	155,623	156,437
長期貸付金	30,000	30,000
繰延税金資産	256,943	256,626
供託金	6,440,423	6,440,000
その他	1,898,230	1,898,728
投資その他の資産合計	8,781,221	8,781,792
固定資産合計	20,904,573	20,799,636
資産合計	32,080,647	31,655,208



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	244,184	182,936
未払法人税等	500,677	86,446
掛金解約手数料戻し損失引当金	5,590	4,093
その他	776,168	736,911
流動負債合計	1,526,622	1,010,387
固定負債		
繰延税金負債	40,175	39,914
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	121,336	125,990
資産除去債務	118,557	118,927
前払式特定取引前受金	13,548,503	13,483,888
その他	26,587	28,141
固定負債合計	13,939,072	13,880,773
負債合計	15,465,694	14,891,161
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	13,657,350	13,806,203
自己株式	670,502	670,502
株主資本合計	16,610,759	16,759,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,192	4,435
その他の包括利益累計額合計	4,192	4,435
純資産合計	16,614,952	16,764,047
負債純資産合計	32,080,647	31,655,208

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,404,450	2,408,138
売上原価	1,624,739	1,672,543
売上総利益	779,710	735,594
販売費及び一般管理費	317,587	318,608
営業利益	462,123	416,986
営業外収益		
受取利息	1,154	896
受取配当金	1,580	282
掛金解約手数料	9,655	4,808
掛金解約手数料戻し損失引当金戻入益	-	729
受取家賃	3,972	7,533
その他	13,352	12,275
営業外収益合計	29,714	26,525
営業外費用		
供託委託手数料	531	74
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	109	-
その他	431	587
営業外費用合計	1,073	662
経常利益	490,765	442,848
特別利益		
補助金収入	-	78,623
特別利益合計	-	78,623
特別損失		
固定資産圧縮損	-	61,856
特別損失合計	-	61,856
税金等調整前四半期純利益	490,765	459,615
法人税、住民税及び事業税	91,070	102,828
法人税等調整額	68,821	50,327
法人税等合計	159,892	153,155
四半期純利益	330,872	306,460
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	330,872	306,460

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	330,872	306,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,160	242
その他の包括利益合計	3,160	242
四半期包括利益	334,033	306,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,033	306,703
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
減価償却費	102,930千円	113,715千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月26日 定時株主総会	普通株式	144,474	11	平成28年3月31日	平成28年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月27日 定時株主総会	普通株式	157,607	12	平成29年3月31日	平成29年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	95,042	2,050,889	49	257,944	2,403,926	523	2,404,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高			63,577		63,577		63,577
計	95,042	2,050,889	63,627	257,944	2,467,503	523	2,468,027
セグメント利益	7,738	614,093	32,921	12,995	667,749	244	667,993

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	667,749
「その他」の区分の利益	244
全社費用(注)	205,870
四半期連結損益計算書の営業利益	462,123

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	121,069	2,017,454		269,025	2,407,549	589	2,408,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高			60,844		60,844		60,844
計	121,069	2,017,454	60,844	269,025	2,468,393	589	2,468,982
セグメント利益	21,171	573,068	32,325	4,573	631,138	229	631,368

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	631,138
「その他」の区分の利益	229
全社費用(注)	214,382
四半期連結損益計算書の営業利益	416,986

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	25 円19銭	23円33銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	330,872	306,460
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	330,872	306,460
普通株式の期中平均株式数(株)	13,134,033	13,133,995

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8 月 8 日

平安レイサーサービス株式会社  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 片 岡 久 依 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 五 十 嵐 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている平安レイサーサービス株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、平安レイサーサービス株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 . 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 . XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。